

書き損じ〈年賀状〉どうしていますか？

東北支部 櫻谷 務

今年も3ヶ月が過ぎようとしています。1月の正月気分はどうに過ぎましたが、年賀状の書き損じ分はどうされていますか。

勿論、対象物が無いといいのですが、たまに発生してしまいますよね。

私は、毎年、お年玉くじ抽選結果を確認してから1ヶ月以内には交換しています。

趣味で各種懸賞応募の点から63円切手の場合が多いです。

こんな事もSDGsの観点からは、限りある資源の再利用にあたると思います。

何もしなければ、そのまま破られ捨てられる運命です。

交換については、ご存じかと思いますが基本的な事だけお知らせします。

- ① 郵便局へ持っていきましょう（書き損じ&余ったハガキ）
- ② 交換できるもの（通常切手・通常ハガキ・往復ハガキなど）
- ③ いつまでできるか？（特に交換期限はありません）

なお、古い年賀状の場合、枚数ではなく当時の年賀状の料金となります

- ④ 手数料がかかります（ハガキや切手に交換する際は、年賀状1枚につき5円です。なお、支払いは現金でもOKです）

さあ皆さん、今年の秋以降に郵便料金の値上げが予定されています。

ハガキ63円が85円に、封書84円が110円に・・・差額補填に書き損じハガキ交換で

20円や1円切手入手もいいかもしれません。

この機会に、引き出しの奥を覗いてみましょう。